

プログラム 大会 1日目 3月2日 (土)

第1会場 (神戸国際展示場 2号館 1F コンベンションホール北)

大会長講演

9:00～9:50

座長：国立病院機構東京病院 近藤 直樹

バタフライエフェクト～小さな羽ばたきから臨床腫瘍薬学の発展へ～

埼玉医科大学国際医療センター がんゲノム医療科/薬剤部/臨床研究適正推進センター 牧野 好倫

教育講演

10:00～11:00

座長：北海道薬剤師会 医薬情報センター 遠藤 一司

令和の時代の薬剤師に期待すること (令和6年度診療報酬改定を受けて)

厚生労働省保険局医療課 薬剤管理官 安川 孝志

理事長講演

11:10～12:00

座長：埼玉医科大学国際医療センター がんゲノム医療科/薬剤部/臨床研究適正推進センター 牧野 好倫

2024年度に向けての日本臨床腫瘍薬学会における活動内容と今後の課題

国立病院機構東京病院 近藤 直樹

ランチョンセミナー 1

12:25～13:25

irAE マネジメントの“リアル”を考える

座長：新潟県立新発田病院 薬剤部 吉野 真樹

LS1-1

東京医科大学病院 薬剤部 東 加奈子

LS1-2

慶應義塾大学 薬学部 医薬品情報学講座/宮城県立がんセンター研究所 土屋 雅美

共催：小野薬品工業株式会社/ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社

特別講演 1

13:40~14:40

座長：埼玉医科大学病院 薬剤部 眞壁 秀樹

がん医療におけるバタフライ・エフェクト

埼玉医科大学国際医療センター 病院長・乳腺腫瘍科 佐伯 俊昭

市民公開講座

15:00~17:00

がんとともに生きられる社会へと願いをこめて

司会：松田 礼那

医師の立場で実施しているがん教育について

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 黒崎 亮

薬剤師の立場で実施しているがん教育について

神戸薬科大学 医薬品評価学研究室 沼田千賀子

乳がん治療を経験したことから感じたがん教育への想い

声優・タレント 矢方 美紀

パネルディスカッション

ディスカッサント：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部

三浦 聡至

星薬科大学 実務教育研究部門

佐野 元彦

アポクリート株式会社 アポック日高センター前薬局 2号店

立澤 明

第2会場（神戸国際展示場 2号館 1F コンベンションホール南）

シンポジウム 1

9:30～11:00

こんな時どうしたらいいの？！

～免疫チェックポイント阻害薬の副作用出現後のステロイドや免疫抑制薬の管理について  
～実際にあった困った事例 ステロイドのプロにコツを伝授してもらおう！～

オーガナイザー：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 藤堂 真紀  
株式会社スギ薬局 人材開発部 藤田あゆみ  
座長：日本医科大学付属病院 薬剤部 輪湖 哲也  
三井記念病院 総合内科 峯村 信嘉

- S1-1 日常で遭遇する irAE のステロイド管理とステロイド不応症例  
～ステロイド管理における薬薬連携の必要性  
九州大学病院 薬剤部 南 晴奈
- S1-2 ICI 投与患者に対する日常業務と薬薬連携における問題点  
スギ薬局久居インターガーデン店 宮田 香織
- S1-3 ステロイド不応性 irAE のマネジメントに際してステロイド以外の機序の免疫抑制薬・生物学的製剤を適切に使用するために  
三井記念病院 総合内科 峯村 信嘉

ランチョンセミナー 2

12:25～13:25

座長：自治医科大学付属病院 薬剤部 中澤 寛仁

- LS2 夢ではない個別化治療はこまできています  
～創造で想像を超える肺癌治療の現状～  
愛媛大学大学院医学系研究科 地域胸部疾患治療学講座 野上 尚之  
共催：中外製薬株式会社

シンポジウム 6

14:50～16:20

どうしたらいいのか？～有資格者の持続可能な後継者育成とキャリアパス～

オーガナイザー・座長：北海道がんセンター 薬剤部 高田 慎也  
埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 森本 真宗

- S6-1 多職種協働とアウトカム評価をとおして共に学ぶ～薬剤師育成の舞台裏～  
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 池末 裕明
- S6-2 広域異動を伴う組織で取り組む薬剤師育成  
～求められる薬剤師になるために～  
国立病院機構九州がんセンター 薬剤部 衛藤 智章
- S6-3 広島市立病院機構で専門薬剤師を繋ぐための試行錯誤  
広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院 薬剤部 阪田 安彦

- S6-4 必要とされ輝けるフィールドを見つける  
～ナカジマ薬局の専門資格取得の取り組み～

株式会社ナカジマ薬局 薬局本部 谷口 亮央

## シンポジウム 9

16:35～18:05

### 様々な医療現場で活躍する薬剤師の臨床推論

オーガナイザー：日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 葉山 達也  
座長：金沢大学附属病院 薬剤部 吉田 幸司  
株式会社ハート薬局 加藤美奈子

- S9-1 general と professional な視点を併せて副作用疑いに挑む

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 今井 徹

- S9-2 調剤薬局でがん薬物療法の副作用早期発見 電話フォローアップからの薬  
薬連携

株式会社オオノ プラザ薬局 濱里 大吉

- S9-3 がん薬物療法中に出現した症状の原因探索 ～皮膚症状と悪心の 2 症例～

金沢大学附属病院 薬剤部 吉田 幸司

- S9-4 薬薬連携を活用した保険薬局における臨床推論

株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 板橋店 大熊 祐美

## イブニングセミナー 1

18:20～19:10

### 徹底！irAE マネジメントにおける薬学的介入～治療フォローアップにおける Tips～

座長：京都大学医学部附属病院 薬剤部 寺田 智祐

- EVS1-1 irAE 早期発見のための検査セットと PBPM～それぞれの効果～

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 池末 裕明

- EVS1-2 地域連携で取り組む irAE マネジメント～患者の発信力を生かすポイント～

九州大学病院 薬剤部 池田 宗彦

共催：MSD 株式会社

第3会場 (神戸国際展示場 1号館 2F 展示室 2A)

シンポジウム 2

9:30～11:00

Up-To-Date ガイドラインから考える化学療法誘発性末梢神経障害への対処のススメ

オーガナイザー・座長：国立がん研究センター中央病院 薬剤部/感染制御室 中島 寿久  
埼玉医科大学総合医療センター薬剤部 大矢 浩之

S2-1 がん化学療法に伴う神経障害ガイドライン Up Date  
—生活機能改善を目指して

理化学研究所 華井 明子

S2-2 がん化学療法に伴う神経障害ガイドライン Up Date  
—薬物療法による治療のエビデンス

国立がん研究センター中央病院 薬剤部/感染制御室 中島 寿久

S2-3 がん化学療法に伴う神経障害ガイドライン Up Date  
—薬物療法による予防のエビデンス

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 渡邊 大地

S2-4 実臨床における CIPN を考える

がん研究会有明病院 薬剤部 中村 匡志

ランチョンセミナー 3

12:25～13:25

座長：国立がん研究センター中央病院 薬剤部/感染制御室 中島 寿久

LS3 悪性リンパ腫に対する二重特異性抗体と CAR-T 細胞療法

近畿大学医学部 血液膠原病内科 口分田貴裕

共催：ジェンマブ株式会社 メディカルアフェアーズ部/アッヴィ合同会社 医学統括本部

## シンポジウム 7

14:50~16:20

こんなときどうする？

～スペシャルポピュレーションに対する抗がん薬治療について考える～

オーガナイザー・座長：茨城県立中央病院 薬剤局薬剤科 大神 正宏  
 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 丹田 雅明

- S7-1 薬物間相互作用の発現への備え  
 筑波大学附属病院 薬剤部 鈴木 嘉治
- S7-2 肝障害がある患者に対する投与量設計  
 愛知県がんセンター 薬剤部 前田 章光
- S7-3 慢性腎臓病を有する患者へのがん薬物療法  
 国立がん研究センター東病院 薬剤部 渋谷 悠真
- S7-4 歯科医との連携の必要性、体格を考慮した投与量設計  
 パナソニック健康保険組合 松下記念病院 薬剤部 早坂 大

## シンポジウム 10

16:35~18:05

症例報告のススメ –実務から学び、臨床・研究スキルを身につける–

オーガナイザー・座長：日本調剤株式会社 教育情報部 宮田 広樹  
 オーガナイザー：福岡大学 薬学部 腫瘍・感染症薬学教室 内山 将伸  
 座長：がん研究会有明病院 薬剤部 青山 剛

- S10-1 専門・認定薬剤師取得のための症例報告と学術論文として発表する症例報告の違い  
 昭和大学 統括薬剤部/薬学部 百 賢二
- S10-2 The CARE guidelines (CAse REports)  
 東京薬科大学 医療実務薬学教室 川口 崇
- S10-3 薬局薬剤師の現場目線で考える、症例報告の現状と課題  
 クオール薬局 自由ヶ丘店 三星 勇輝

第4会場 (神戸国際展示場 1号館 2F 展示室 2B)

シンポジウム 3

9:30～11:00

がん治療患者への栄養管理に薬剤師がどこまで踏み込めるか！？

オーガナイザー・座長：埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 高山 俊輔  
座長：日本赤十字社 飯山赤十字病院 薬剤部 滝澤 康志

- S3-1 本シンポジウムの趣旨説明とがん治療患者における栄養管理を考える  
埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 高山 俊輔
- S3-2 保険薬局における管理栄養士の栄養介入と薬剤師間連携  
日本調剤 柏の葉公園薬局 下村 直樹
- S3-3 薬剤師＋栄養士＝患者満足度UP  
日本赤十字社 飯山赤十字病院 薬剤部 滝澤 康志
- S3-4 がん治療患者の栄養管理のキーポイントと薬剤師との連携に求めること  
東京医科歯科大学病院 臨床栄養部 森 ひろみ
- S3-5 がん治療患者への簡易懸濁法の服薬支援と曝露対策  
北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 薬物治療学Ⅳ/  
北里大学メディカルセンター 薬剤部 青木 学一

ランチョンセミナー 4

12:25～13:25

座長：埼玉医科大学病院 薬剤部 眞壁 秀樹

- LS4 多発性骨髄腫の新たな治療戦略  
徳島県立中央病院 血液内科 尾崎 修治  
共催：第一三共エスファ株式会社

シンポジウム 8

14:50～16:20

がん治療後の人生のために、薬剤師ができること：晩期合併症にどう関わるか？

オーガナイザー・座長：滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 日置 三紀  
オーガナイザー：国立国際医療研究センター 薬剤部 小室 雅人  
座長：埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 長谷川まゆみ

- S8-1 我が国のがん対策と薬剤師に期待されること  
厚生労働省 文 靖子
- S8-2 がん・生殖医療における薬剤師の役割  
埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 佐々木実緒
- S8-3 がんサバイバーの晩期合併症に対する薬剤師の関わり  
国立国際医療研究センター 薬剤部 小室 雅人
- S8-4 がんは治ったものの不妊になった私からの私へのプレゼント  
日本骨髄バンク評議員 大谷 貴子

## シンポジウム 11

16:35～18:05

どうせやるならちゃんとやろう！

～連携充実加算施設基準要件の研修会を充実させる方法～

オーガナイザー・座長：国立病院機構横浜医療センター 薬剤部 小井土啓一  
茨城県立こども病院 薬剤部 堀越 建一

S11-1 特定薬剤管理指導加算 2 のハードルを越えるには

総合メディカル株式会社 そうごう薬局 崇禅寺店 吉留実慧子

S11-2 地域薬剤師会と協働した定期的な研修会開催の取り組み

～地域全体での患者支援を目指して～

総合病院 土浦協同病院 薬剤部 飯田 遼

S11-3 どうせやるならちゃんとやろう

～施設要件としての研修会から病院薬剤師に対するニーズを掘り起こす～

帝京大学医学部附属病院 徳留 雄太

S11-4 地域保険薬局を対象としたオンライン研修会を 3 年間継続開催した末路

国立病院機構横浜医療センター 薬剤部 小井土啓一

## イブニングセミナー 2

18:20～19:10

座長：岐阜薬科大学 実践薬学研究推進センター/病院薬学研究室 吉村 知哲

EVS2 患者さん・医療スタッフとのコミュニケーション Tips

滋賀医科大学医学部附属病院 薬剤部 日置 三紀

共催：株式会社 IL ファーマパッケージング



第5会場（神戸国際展示場 2号館 2F 2A 会議室）

シンポジウム 4

9:30～11:00

医療経済からがん医療を考える

～医療現場における MOTTAINAI をそのまま放置し続けてよいのか～

オーガナイザー・座長：岡山大学病院 薬剤部 鍛冶園 誠  
大垣市民病院 薬剤部 郷 真貴子

- S4-1 がん治療の現場で遭遇する医療経済に関する諸問題  
岡山大学病院 薬剤部 鍛冶園 誠
- S4-2 MOTTAINAI NOW  
神奈川県立足柄上病院 原田 知彦
- S4-3 医療費削減に向けた薬剤師からの情報発信の重要性  
～MOTTAINAI を臨床研究に変えて～  
大垣市民病院 薬剤部 宇佐美英績
- S4-4 To sustain the unsustainable  
日本赤十字社医療センター 國頭 英夫

教育セミナー 1

11:10～12:10

座長：市立芦屋病院 薬剤科 岡本 禎晃

- ES1 患者情報と製剤特性で考えるがん疼痛治療薬  
長崎大学病院 薬剤部 龍 恵美  
共催：日本臓器製薬株式会社

ランチョンセミナー 5

12:25～13:25

副作用マネジメントにおける院内/薬業連携の課題

座長：国立がん研究センター中央病院 薬剤部 橋本 浩伸

- LS5-1 ダブラフェニブ・トラメチニブの副作用マネジメント  
～皮膚科の経験から～  
埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科 中村 泰大
- LS5-2 院内/薬業連携における薬剤師の重要性  
～薬剤師から働きかけるチーム医療推進～  
住友別子病院 薬剤部医薬品情報科 矢野 琢也  
共催：ノバルティス ファーマ株式会社

## BPACC 会議

14:50~16:50

### 第2回 専門医療機関連携薬局の推進に向けた薬局 BPACC 会議

オーガナイザー・座長：国立がん研究センター東病院 松井 礼子  
オーガナイザー：国立病院機構東京病院 薬剤部 近藤 直樹  
座長：株式会社アインホールディングス 医療連携学術部 松村 敦子

#### 専門医療機関連携薬局の推進に向けて ～行政の視点より～

厚生労働省 医薬局総務課 太田 美紀

#### 外来がん治療（認定、専門）薬剤師資格取得による対象者の意識ならびに業務環境の変化 ー専門医療機関連携薬局の現状も踏まえてー

帝京平成大学 薬学部医薬品安全性評価学ユニット 濃沼 政美

#### パネルディスカッション

ディスカッサント：株式会社ミズ 溝上薬局 医療薬局推進部 八坂 瑞臣  
慶應義塾大学 薬学部 土屋 雅美  
国立がん研究センター東病院 看護部 市川 智里

## イブニングセミナー 3

18:20~19:10

### 経口抗がん剤治療の最大化！薬薬連携のプロセスについて考える

座長：埼玉県立がんセンター 乳腺腫瘍内科 永井 成勲

EVS3-1

埼玉県立がんセンター 薬剤部 武井 大輔

EVS3-2

調剤薬局マツモトキヨシ 埼玉伊奈店 照屋千津子

共催：日本イーライリリー株式会社

第6会場 (神戸国際展示場 2号館 3F 3A 会議室)

シンポジウム 5

9:30～11:00

がん領域における医療 DX のススメ

オーガナイザー・座長：八尾市立病院 小枝 伸行  
株式会社 MediFrame 和田 敦

- S5-1 厚生労働省における医療 DX の取り組みについて  
厚生労働省 医政局特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官付医療情報室長 新畑 覚也
- S5-2 医師・薬局経営の立場から見たがん治療における医療 DX とは  
ファルメディコ株式会社 狭間 研至
- S5-3 VBCH (Value-Based Health Care) とがん領域における電子版お薬手帳の可能性  
株式会社ファルモ 広井 嘉栄

ランチョンセミナー 6

12:25～13:25

座長：地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター薬局 高木 麻里

- LS6 CSTD 全薬剤導入に向けての道のり  
国立がん研究センター中央病院 薬剤部 久保 晶子  
共催：株式会社ジェイ・エム・エス

一般演題 (口演) 4

14:50～15:32

地域・在宅医療・その他

座長：日本調剤株式会社 教育情報部 宮田 広樹  
国立がん研究センター東病院 薬剤部 川澄 賢司

- O-18 当院のがん遺伝子パネル検査における薬剤師の関わり  
国立病院機構九州がんセンター 臨床研究センター 仲田 浩成
- O-19 新人薬剤師が抗がん剤治療患者へ感じる不安と専門薬剤師による講義が与える影響の調査  
キョーワ薬局 四日市店 柘植 雅大
- O-20 居宅療養管理指導を行うホルモン療法中の前立腺がん患者に下肢静脈血栓塞栓症を疑った一症例  
スギ薬局 福町店 永田 雅史
- O-21 外来がん化学療法において薬剤師の介入が治療継続に及ぼす影響  
大阪府済生会野江病院 薬剤科 岡崎 秀太
- O-22 専門医療機関連携薬局勤務の薬剤師の意識調査  
～認定継続のために認定者ができること～  
日本調剤高砂薬局 安斎 沙織

- O-23 地域ローテート型薬剤師レジデントプログラムにおけるがん領域の教育効果検証に向けた取り組み

東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室 稲毛 慶子

一般演題 (口演) 6

15:50~16:32

がん薬物療法 (支持療法などを含む) 症例報告②

座長：山形大学医学部附属病院 薬剤部 志田 敏宏  
大垣市民病院 薬剤部 郷 真貴子

- O-29 当院でのホスネツピタント導入後の化学療法による悪心嘔吐発現状況調査

大垣徳洲会病院 薬剤部 遠藤 秀竜

- O-30 オラパリブ+ベバシズマブ療法中にレムデシビルを使用し好中球減少を呈した一例

大阪府済生会野江病院 薬剤科 永井 大地

- O-31 BRAF/MEK 阻害剤投与後に薬剤性間質性肺炎を発症した非小細胞肺癌に用量漸増法で再投与した1例

済生会兵庫県病院 薬剤科 永田 泰大

- O-32 Avelumab による infusion reaction の予防法に関する検討

国立病院機構 北海道がんセンター 薬剤部 斉藤 諒

- O-33 構語障害のある患者に対しオンラインフォローアップにより爪囲炎の対応を行った一例

日本調剤 広大前薬局 吉川麻里子

- O-34 当院における80歳を超える高齢者悪性リンパ腫の化学療法についての現状調査

新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 薬剤部 矢吹 剛

Basic セミナー 1

17:00~17:30

座長：住友別子病院 薬剤部 矢野 琢也

大腸がん薬物療法の基礎知識

福岡徳洲会病院 薬剤部 秦 晃二郎

Basic セミナー 2

17:30~18:00

座長：昭和大学横浜市北部病院 薬剤部 縄田 修一

肺がん薬物療法の基礎知識

徳島赤十字病院 薬剤部 組橋 由記

## イブニングセミナー 4

18:20～19:10

座長：埼玉医科大学総合医療センター 近藤 正巳

- EVS4 在宅医療でがんを治す・癒す  
－ チーム宮下における薬剤師の役割 －

HOME CARE CLINIC N-CONCEPT 宮下 直洋

共催：シンバイオ製薬株式会社

## 第7会場 (神戸国際展示場 2号館 3F 3B 会議室)

## 一般演題 (口演) 1

9:30~10:19

## がん薬物療法 (支持療法などを含む) 症例報告①

座長: 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 小谷野大地  
株式会社ハート薬局 加藤美奈子

- O-01 パニツムマブ投与中の低マグネシウム血症に対してプロトンポンプ阻害薬中止により改善した一例  
浜松医療センター 薬剤科 宮本 康敬
- O-02 患部写真を薬学的介入に利用した抗 EGFR 抗体薬の皮膚障害症例  
日本調剤株式会社 中尾薬局 米良 千春
- O-03 肝細胞癌 Atezolizumab+Bevacizumab 療法中にネフローゼ症候群を来した1例  
済生会熊本病院 薬剤部 守田 和憲
- O-04 Nivolumab+SOX 併用療法による肝障害を呈した2症例  
川西市立総合医療センター 薬剤科 沢 仁美
- O-05 ニボルマブ投与中に尿管間質性腎炎を生じた一例  
国立病院機構 神戸医療センター 薬剤部 塚本名奈子
- O-06 肝細胞癌に対してアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法を開始した患者に薬剤師が介入したことにより、長期継続出来ている一例。  
熊谷総合病院 薬剤科 青木 洸英
- O-07 簡易懸濁法を用いて Cetuximab+Encorafenib+Binimetinib 療法を施行した一例  
北里大学北里研究所病院 薬剤部 南 有里

## 一般演題 (口演) 2

10:30~11:12

## がん薬物療法 (支持医療などを含む) 症例報告を除く①

座長: 埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 森本 真宗  
群馬県立がんセンター 薬剤部 新井 隆広

- O-08 進行胃癌患者におけるニボルマブの有効性と安全性に対する鎮痛薬の影響  
大森赤十字病院 薬剤部 折本 彬
- O-09 胃癌 Nivolumab 療法における irAE 発症の有無と予後の相関  
埼玉県立がんセンター 薬剤部 鈴木 貴之
- O-10 ニボルマブおよびペムブロリズマブ投与間隔延長レジメンにおける患者来院状況の調査  
大垣市民病院 薬剤部 浅野 裕紀

- O-11 Nivolumab 療法と皮膚障害の関係性について  
高槻赤十字病院 薬剤部 濱武 清範
- O-12 益田赤十字病院におけるペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法の使用状況  
益田赤十字病院 吉田 勝好
- O-13 抗 AChR 抗体を有する患者における ICI 投与と PD-1 Myopathy の関連性に関する検討  
東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部 五十嵐貴之

一般演題（口演） 3 11:30～11:58

調剤・処方監査・リスクマネージメント・医薬品情報・データベース・薬歴管理

座長：アポクリート株式会社 アポック日高センター前薬局 2号店 立澤 明  
埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 三浦 聡至

- O-14 外来がん化学療法連携充実加算における連携文書作成システムの開発と評価  
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部 牧原 明秀
- O-15 web 会議ツールを用いた抗がん剤調製鑑査の有用性の検討  
くまもと県北病院 向井光一郎
- O-16 大規模副作用報告データベースを用いた、がん種別 irAE の発現傾向に関する研究  
国立がん研究センター東病院 薬剤部 竹森 飛翔
- O-17 閉鎖式薬物輸送システムを用いた抗がん薬調製時に生じる不具合と調製、経営に対する影響  
日本海総合病院 石川 大介

ランチョンセミナー 7 12:25～13:25

座長：国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 シーズ開発推進部 シーズ開発支援室 / 薬剤部 野村 久祥

- LS7 さあ始めよう PBPM！～薬剤師の専門性発揮に向けて～  
松山赤十字病院 薬剤部 村上 通康  
共催：ファイザー株式会社

## 一般演題（口演） 5

14:50～15:25

## 病診薬（薬薬）連携・チーム医療①

座長：ファーマクラスター株式会社 人材開発部 太田 愛子  
 埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 大矢 浩之

- 24 外来がん指導研究会の取り組みと今後の展望  
 西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 薬剤部 梅谷 亮介
- 25 グループ施設間 Web ミーティングを契機とした他施設での認定薬剤師取得への支援  
 新小文字病院 辻本 朗
- 26 地域保険薬局と協働した研修会の継続が大腸がん術後補助化学療法完遂率に与えた影響についての検討  
 総合病院 土浦協同病院 薬剤部 飯田 遼
- 27 グループ間でのがん実務担当者 Web カンファレンスの計画と運営  
 福岡和白病院 永淵 学
- 28 がん薬物療法のテレフォンプォローアップに関する薬薬連携研修の効果  
 横浜旭中央総合病院 薬剤部 川田 史朗

## 一般演題（口演） 7

15:50～16:25

## 病診薬（薬薬）連携・チーム医療②

座長：株式会社マスカット薬局 高見陽一郎  
 横浜南共済病院 薬剤科 橋口 宏司

- 35 電話相談により発熱性好中球減少症の発見から病院との連携で緊急入院につながった乳がん患者の一例  
 日本調剤 みなと薬局 許 鍵
- 36 がん化学療法における薬薬連携による処方提案の妨げとなる要因の実態調査研究  
 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 小川 純明
- 37 保険薬局薬剤師を対象とした抗がん薬処方箋応需の実態調査  
 君津中央病院 薬剤科 佐野 綾乃
- 38 外来がん治療情報提供書における薬局薬剤師の患者指導に影響を与える因子の検討  
 フロンティア薬局 日立店 丸田 勇樹
- 39 悪性新生物に対する免疫チェックポイント阻害薬に伴う免疫関連有害事象早期発見に関する取り組みと報告  
 大和高田市立病院 薬剤部 新森健太郎



## 一般演題（口演） 8

17:00～18:03

### がん薬物療法（支持医療などを含む）症例報告を除く②

座長：埼玉県立がんセンター薬剤部

中山 季昭

国立がん研究センター中央病院 薬剤部/感染制御室 中島 寿久

○-40 抗がん薬治療患者におけるテレフォンプォローアップのタイミングについての検討

日本調剤 九大前薬局 田中 智枝

○-41 切除不能進行再発胃癌一次治療の治療戦略

金城学院大学 薬学部 富田 雅子

○-42 急性骨髄性白血病患者におけるベネトクラストラフ濃度と血清 CRP 値の関係

明治薬科大学 薬学教育センター 治療評価学研究室 丸藤 義翔

○-43 アナモレリン塩酸塩の治療効果に影響する因子の後方視的探索研究

公立藤岡総合病院 薬剤部 増野 貴司

○-44 ナノリポソーマルイリノテカンとレボホリナートの並列投与における有効性、安全性の評価

北海道大学病院 薬剤部 坂本 達彦

○-45 京都市立病院における膀胱がんに対する dose-dense MVAC 療法の使用経験

京都市立病院 薬剤科 大野 恵一

○-46 ベネトクラスの有害事象調査～継続服用に与える影響は？～

新潟南病院 薬剤部 土橋 侑介

○-47 進行大腸癌に対するトリフルリジン/チピラシル+ベバシズマブ隔週投与レジメンの有効性、安全性および治療関連日数についての検討

国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部 竹田あかね

○-48 ポマリドミド関連皮膚障害に関する実態調査とリスク因子解析

明治薬科大学 循環薬理学研究室 杉 富行

## イブニングセミナー 5

18:20～19:10

座長：岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 飯原 大稔

EVS5 最新の制吐療法がもたらした薬剤師業務への恩恵

－ ホスネツピタントを例に －

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 橋本 浩伸

共催：大鵬薬品工業株式会社